

技術評価認定書

評価認定対象技術：M.V.P.-Deepシステム

雨水貯留浸透技術評価認定制度実施要領（1996年6月1日施行）に基づき審査した結果、上記技術を総合治水対策及び水循環再生等に寄与する技術と認め、下記のとおり評価認定する。

2023年 4月 1日

公益社団法人雨水貯留浸透技術協会

会長

佐藤直良

記

1. 評価認定結果

- (1) 雨水流出抑制施設として必要とされる機能を有すると認められる。
- (2) 実用上必要な強度、耐久性を有すると認められる。
- (3) レベル1、レベル2に相当する地震動に対して、耐震性能を有していると認められる。
- (4) 施工が容易であると認められる。
- (5) 施設の維持管理が容易であると認められる。

2. 評価認定の前提

- (1) 提出された資料には事実に反した記載がないものとする。
- (2) 本認定に使用する材料は、適正な品質管理のもとで製造されたものとする。
- (3) 本認定の施工は、標準施工要領に従い適正な施工管理のもとに行われるものである。

3. 評価認定有効期間

自 2023年 4月 1日 至 2028年 3月 31日

4. 申請者

ベルテクス株式会社

住所 東京都千代田区麴町五丁目7番地2

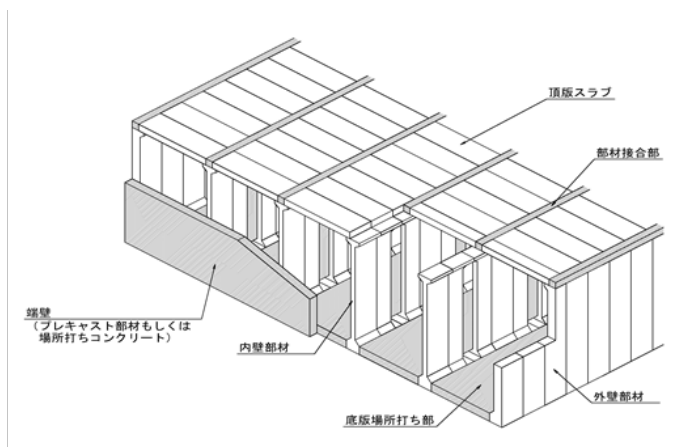
1. 評価認定対象技術

- ◆評価申請者 株式会社ホクコン
- ◆対象技術 M. V. P. -Deep システム
- ◆技術の概要

M. V. P. -Deep システム（以下、M. V. P. -D という）は、基礎コンクリート上にプレキャスト化した鉄筋コンクリート製の外壁部材、内壁部材、中間スラブおよび頂版スラブを組み合わせ、底版場所打ち部および端壁から構築される一槽式または上下二槽式の雨水地下貯留槽である。

本システムは、規格に応じて一槽式または中間スラブを配置した上下二槽式に区別される。上下二槽式においては構造安定性に優れ、施工時における作業空間を確保することで施工性の向上を図ることが出来る。また内壁部材が分割構造となる等、各部材が小型化・軽量化を図っており、狭隘な敷地等様々な施工条件に対応が可能となる。また、本システムは、内部空間が広いため貯留槽内部の目視確認および維持管理が容易に行える。また、槽内に越流堰や流入柵を設けることで更に維持管理性を高めることが可能である。

一層式 (H5000・H6000)



二層式 (H7000)

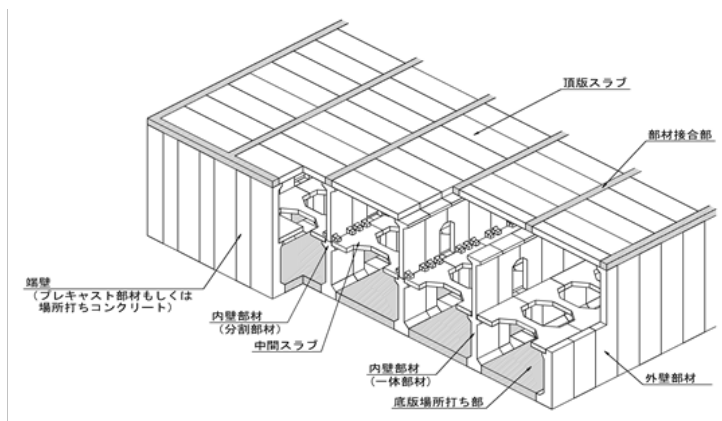


図1 M. V. P. -Deep システム概要図

2. 評価の経緯

雨水貯留浸透技術評価認定制度実施要領（平成8年6月1日施行）に基づき、株式会社ホクコンが開発した M. V. P. -D の技術について評価を行うものである。

3. 評価の範囲

評価の範囲は、プレキャストコンクリート製の貯留材および PC 鋼材他付属部材を用いて、雨水貯留施設を構築する技術とする。

4. 評価の内容

評価にあたり、具体的な評価の内容を以下に示す。

1) 機能性

M. V. P. -Deep システムは、プレキャストコンクリート製地下貯留槽として高い貯留率を有しており、部材の組み合わせにより敷地形状に合わせた設置が可能である。また、上部空間の土地利用が可能である。

2) 強度および耐久性

M. V. P. -Deep システムの接合部は、実物による載荷試験の結果から実用上必要とされる強度と耐久性を有していることが確認された。

3) 耐震性

M. V. P. -Deep システムは、常時および地震時（レベル 1、レベル 2）の荷重に対して構造解析を行った結果、実用上必要とされる耐震性能を有していることが確認された。

4) 施工性

M. V. P. -Deep システムは、貯留槽を構築する材料の大部分をプレキャスト部材が占めることで、施工現場における工程の簡略化が図られ、場所打ちコンクリートに比べ工期短縮と省力化が図れる。

5) 維持管理性

M. V. P. -Deep システムは、内部空間が広いことおよび中間スラブに大きな開口を設けることで、貯留槽内部の点検および維持管理が可能である。

